



「季節は巡り、また夏が来た」

第40号

各施設ホームページには、法人ホームページからアクセスしてください。

<http://hakukou-kai.or.jp/>

各施設のホームページにメールボックスがあります。ご意見、ご感想をお寄せください。

平成 28 年 7 月 1 日 社会福祉法人 薄光会 広報委員会発行

本部、太陽のしずく ケアホーム COCO	〒299-1607	千葉県富津市湊 1070-3	☎ 0439-67-3711
豊岡光生園	〒299-1742	千葉県富津市豊岡 3 5 3 5-1	☎ 0439-68-1711
相談支援センター天羽			☎ 0439-68-1833
三芳光陽園	〒294-0825	千葉県南房総市上堀 280	☎ 0470-36-3211
鴨川ひかり学園	〒299-2854	千葉県鴨川市代 1297	☎ 04-7099-3311
ひなたホームズ			
湊ひかり学園	〒299-1607	千葉県富津市湊 934-18	☎ 0439-70-6551

光陽

『歌って踊って地域交流』

今年の開園記念日は、楽しい食事の後に、これまた皆さんの大好きなカラオケ大会を、地域のボランティア『レインボー』の皆さんと一緒にしました。

この日は、普段お部屋で過ごすことが多い重子さんも起きてきて皆の仲間入りです。自分の知っている曲の時は、感動のあまり、涙を流しながらここに顔で聴いていました。日頃から「わたし歌は好きなの」と自分でも話しているくらいで、職員と一緒に「もーもたろさん、もたろさん……」と唄うこともあります。もっとも最後まで唄うことはあまりありませんが……。

普段は「歌が好き」という素振りをみせない、きぬさんは、いつもとちょっと雰囲気の違いがありました。「東京音頭」が流れると、曲に合わせて踊り始めたのです。



聞き覚えがある曲がかかる、少し身振り手振りを交えて口ずさみながら歌に聞き入っていました。目をきらきらさせて……。

地域の人と交流できる機会は、何度もあるわけではありませんが、地元の幼稚園児の歌やダンスを見る時も、地域の夏祭りのお囃子や太鼓の演技を見る時も演じて下さる方達と共に、三芳光陽園の皆さんも一生懸命に輝いていきますね。これからも、皆さんの知られざる一面を見せていただきたいと思います。

富山

『夏野菜始めました』

春夏秋冬、年間を通して様々な野菜・果物を植え付け、収穫し、食す。利用者はもちろん、職員の楽しみでもある菜園作り。時期になると、そら豆、玉葱、トマト、スイカなど……。



買った物とは違った味わいが待っています。ゴールデンウィークのこと。

毎年この時期になると夏野菜や果物など数種類の苗を植え付けます。畑の周りには利用者様が集まり、農家を営んでいた方からは多くのアドバイスをいただきます。真剣な表情で観察している方、暖かい日差しの中眠そうにされている方、様々な表情がありました。

植え付け翌日より、吉田さんは毎日欠かさず、菜園の様子を確認します。以前吉田さんは、家庭菜園を行っていたとのことで、おいしい野菜作りの方法や害虫対策など多くの助言をしてくれます。そのこともあり、昨年は瑞々しく立派なスイカを収穫することができました。



しかし、成功ばかりが菜園ではありません。その年の気候や、苗の状況で大きく変わってきてしまいます。昨年のトマトはなぜか上手くいきませんでした。吉田さんに聞いてみると「わからない。美味しいものができるのに越したことはないけど、

失敗は考えることができるよ」と。

吉田さんの助言を受け、同じ作物の連作も原因ではないかとの結論に。今年は育てるのがもっとも難しいと言われている「メロン」を植え付けました。



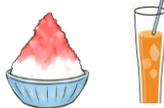
暑い夏に向け、新たな挑戦が始まります。岩村

『今年は猛暑の予想』

いよいよ夏到来。夏と言えば海、スイカ、いやいや熱中症です。何故かというが高齢者は熱中症・脱水症になりやすいからです。

対策その一、水分補給が重要です。乾いた状況を知ってか知らずか、お茶は嫌い、飲みたくない、たくさん飲めないと言いたい放題。

私たちは、試行錯誤し、その人の好みを探っていきます。多くの方は、甘い飲み物に辿り着きます。甘い物は口開けも良く、残さず飲まれますが、カロリーオーバーには要注意。



対策その二、高齢者は体温調整機能が低下し、暑さを自覚しにくくなります。猛暑日や不快指数が高い日でも、洋服や下着を重ね着され、寒いと訴える方もいます。体感の違いは分かるような気がしますが、いやいや説得説得。個々に合った対策をしながら、今年の夏も元気で楽しく過ごせるように頑張ります。

羽山

太陽のしずく

『放課後等デイサービス』

今年度から、太陽のしずくの新しい事業である放課後等デイサービス『チームどろんこ』が開所しました。これまで太陽のしずくは、大人の方が集う事業所でしたが、放課後等デイサービスは児童が対象なので、「大人」と「子供」が共に過ごす時間が生まれました。

一日の仕事を終えてくつろぐ時間、大人の空間だった太陽のしずくに「ただいま〜」「ごらん〜ちは〜」と元氣いっぱいな子供の声が響きます。すると、大人の方も「おかえり〜」とまるでわが子を見るような優しい眼差しで応えます。

子供たちはというと、太陽のしずくへ来ると、周りの事など頓着せず、遊びたい物で遊びたいように遊んでいます。時には、大人の方が大事にしているもので遊んでしまうこともあります。「〇〇さんが使っているからね。」などとつい止めに入ってしまうところですが、大人の方は、「しかたねえなあ」といった感じで快く貸してくれます。

子供たちはすこぶる賑やか。それを目で追い嬉しそうにしている方もいれば、やかましいのが大の苦手で、いつもなら怒ってしまう方でも「大きい声出したら子供がびっくりするからよぉ〜」と氣遣ったりしてくれます。明らかに大人の方に変化が見える

のです。

子供たちにも変化が見え始めています、当初は子供同士で意見が合わない、なかなか譲れないことが目についたのですが、大人の方と過ごすうちに「〇〇さんが譲ってくれたから僕もここは譲るよ」と、お互いの気持ちを受け止めようとする場面が増えてきました。

これまでの人生を背負って今を生きている大人たちと、これから大人になるためにたくさん学んでいる発展途上の子供たち。このお互いの関わり合いが、素敵な何かを産み出す予感がしています。

（『チームどろんこ』保育士 庄司）



リリース

『常連のん田指し』

おしごこの合間を利用し、近くにある「グローブ・カフェ」に通っています。

ここは、先回の『きらめき』三十九号の記事、「マスタールいつものやつ」に載ったところ。その時は年

の初め、十一時のオープンとともに入店、期間限定の「ゲイシャコーヒー」を注文したのでした。ログハウスのオーブンテラスもあり、おしゃべり、居心地の良い雰囲気ですっかり気に入ってしまいました。

数ヶ月が経ち、再びお店へ行くと、私たちをみて「以前、みんなでゲイシャコーヒー飲まれた方ですよ」と店員さんが声を掛けてくれました。沢山のお客さんが来る中で、私たちのことを覚えていてくれた事は本当に感動しました。

その日はランチのカレーを食べていくことにしました。運ばれてきたカレーに、いつもはゆっくり過ぎるペースの修さんが、好物なのか「早く食べたい」とスプーンを片手に「レディー、ゴー」。隣でアワアワしている私を尻目に「パクツ」。一口食べたらもう止まりません。大きめの野菜もパクパク。私が食べ始めるころには修さんのお皿は既に完食。まだ食べ足りない表情に、「これ食べますか」と尋ねると「あー」と即座の返事。私の分もペろりと平らげてしまいました。

いやはや。でも、待ちに待ったコーヒーが運ばれてきたらテレビのCMでお馴染みの「違いが分かる男」に変身。ミルクとガムシロップを細い指先で丁寧に入れ、香りを味わいながらゆっくり口に含んでいました。

会計後、お店の外まで出て来て「また、来てくださいね」と見送ってくれました。

きつと、カレーの食べっぴりとコーヒーを味わうダンディーさに微笑んでくれたのに違いありません。また「いつものやつ」と、かっこ良く注文しに行こうね。

（野田）

園だより

『あし音』

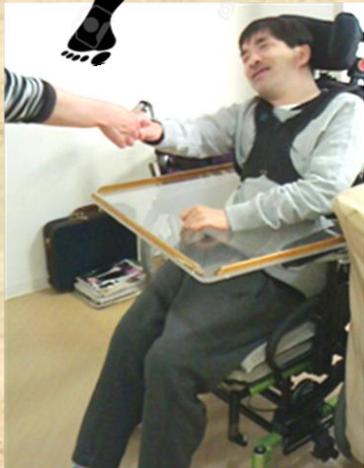
●「スタッ、トッ、タタタタ。」よろめきつつも
リビングの椅子から食器棚をかすめて
冷蔵庫へ。

職員の「あっ、危ない」をよそに
（あー、のど乾いた。）

「ガッチャ。」

中をじいっとなめるように見つめ、
ガツと掴んだトマトジュース。

……離さない。（これが飲みたいな。）



●「トントントン」「ジュジュジュウ」
台所の匂いにつられて



「どおん」と重いはずのお尻が、

「すう〜つ」とカウンターまで、

まるで宇宙飛行士のように。

旨そうだなあ〜。

目尻とほっぺは重力に逆らえず。

●「ンフーツ、フン」鼻息荒く

（ここじゃあなくて、あっち）

と手を伸ばしてつま先が床を

「ちゃんちゃん」車輪「カタカタ」

（いったい何処へ）

疑問の背後に緩む顔。

含み笑い。（俺の行きたいとこ、分かってるよね。）

●気持ちは軽やかに、足どりは
「ふわっ、とたっ、グラッ、トットタ。」
（おいおい、だじょうぶがあ〜？）
（ちよっとお部屋が気になっただけ。
バイ〜ン。）



ユニットの住まいになって数年。

改築前まで区切られ、鍵のかかっていた
お風呂、台所など色々なものが
身近になりました。

これからもひとりのひとりの利用者さんの
生活がどのようなものになっていくのか。
まだ、始まったばかり。
楽しみです。

『勝負に熱中しています』



「なかなか揃わないなあ」

昼休み、利用者みなさんは思い思いの過ごし方でその時間を楽しまます。その中に、館内に歓声を響かせてトランプゲームに興じるグループがあります。

「水嶋さんも一緒にやりませんか？」と声をかけてくれたのは石井みどりさん。小倉さん、新川さんも加わり、「ババ抜き真剣勝負」の始まりです。

彼らと行うババ抜きは、自分の手札からペアを早く見つけ出すことも勝負の一つです。小倉さんは回数を重ねるたびに、数字を合わせることがとても早くなりました。

「準備できた！」

一番に声を上げたのは新川さんでした。

今日のババ抜き勝負は、お互いの勝ちたい気持ちがあつかり合つて、十分を越す熱戦に。それでも一枚、一枚とカードが無くなっていき、最後は私と小倉さんの二人になりました。

「そういうえば、小倉さんは一対一になると、ほぼ一発でペアを揃えると聞いたことがあるような……」そんなことを考えていると、小倉さんは確信めいた動きでカードを引き、見事ペアを揃えて私がヒリヒリに。



「よーし！ もう一回だ！」と思わず声を上げた私を見て大笑いをするみどりさん、新川さん、そして小倉さん。楽しい昼休みはまだ始まったばかりですもんね。

トランプをしていると、利用者の方々がその様子を見に来てくれたり、私たちがあげる歓声と一緒に声を出して笑ってくれたりします。トランプに限らず、たくさんの方で利用者さん達と楽しい時間を過ごしていきたいと思います。

(水嶋)

『江見小学校と種まき交流』



曾呂、江見、太海の三つの小学校が統合され、新たに開校した「江見小学校」。初めての交流企画として、全校児童と「マリーゴールド」の種まきをしてきました。



今後は、花壇へ植え替える作業の交流企画も予定されています。



『にやり・ほっとセレクション』



道の駅オーシャンパークに、車椅子の方々に植えたチューリップが咲き始めました。

新川さん、水谷さん、尾高さんの女性三人でその花を見に行くと、車椅子からの視線がちょうど花の高さだった水谷さんが、即座に手を伸ばしチューリップの花を摘み取りました。彼女はそのチューリップを上に掲げたり、周囲に見せるように振り回したり、ずっと離さず持っています。

「きれいだね」「咲いているね」その様子を微笑ましく見ている新川さんと尾高さん。

「あ！ やっちまった」と思ったのは職員だけだったのかもしれない。



ココ de COCO



『あけぼの荘の人々』

あけぼの荘では鹿島さんと友大さんが週末になると君津のDVDレンタルショップのGEOへ行く事を楽しみにしています。

「今週末の支援員は長谷川さんか？ 連れてってくれるかな。」

と鹿島さんは、わくわくするDVDを期待しているにちがいない。

英樹さんは世話人さんが大好きで、忙しそうにしている世話人さんの服を引っ張るなどして触れ合いを求めています。世話人さんが後ろからハグしてくれてほおずりされると、よじれた全身が笑顔になります。

裕之さんはリビングの椅子に座りマイペースでボールを手の甲に乗せたり、跳ね上げたりして遊んでいます。時々、近付いてキャッチボールをします。

「待ってました」と嬉しそうにボールを投げ返して小さな歓声をあげ、悦に入っています。

隆史さんは仲の良い鹿島さんと一緒に音楽を聞いて過ごしています。買い物も鹿島さんや友大さんと出かけようとするので一緒に行くこと出かけています。何より人と触れ合う事が嬉しいようです。

長井さんはホーム内の事を気にかけて廊下に空の米櫃が置いてあると「お米が無いよ」とか「シーツ届いてないよ」と心配してくれます。

鹿島さんと友大さんは先日、地域の方と「ミゼロ運動」に参加され一生懸命、作業されていました。

あけぼの荘では趣味はバラバラですがどこかへ出かけようとするので一致団結して皆さんで外出して楽しんでいきます。

長谷川

『みかん』



以前、紹介されたMOMOに住む鶴野さんとみかんの話。さすがに夏間近になって、スーパーの店頭にいる並んだ果物の中から、みかんの爆買い、いや、箱買いはできなくなった。みかん好き鶴野さんのシーズンオフだ。

先月、皆でドライブをした。道路際に風を受けてはためく旗指し物を見かけた。

「回転寿司 二貫 トロー〇八円」

とある。私が無気なく読み上げると、鶴野さんが素早く反応した。

「ぐふっ」と笑う鶴野さん。

「えっ？」とルームミラーを覗く私。

「みかん!!」



車の一番後ろの座席から前の方に鶴野さんが身を乗り出してきた。顔がゆるんでいる。

そうなのだ。「二貫」を「みかん」と聞き間違えたのだ。「一瞬「え、なに？」ってなった私だが、鶴野さんのミカンへの愛着心に気づいて、気持ちの良い笑いがこみ上げてきたのだ。みかんは、彼の元気パワーの源となっているようだ。

山村

『新職員挨拶』

ケアホームCOCOに新しい仲間が増えました。四名の新人職員から一言お願いします。

☆加藤邦明さん

昨年十二月より就労して、早や半年が経ちました。まだ福祉の職に就いて日が浅いので、今後共ご指導の程よろしくお願い致します。

☆藤城貴信さん

三月二十五日より就労しました。

三カ月目に入りましたが、まだまだ勉強することの多い毎日です。これからも利用者と楽しく笑い合っていけたらいいなと思います。よろしくお願いします。



☆川名由喜子さん

四月から新しく入った川名です。

様々な意見や考え方を聞いて、自分の目でしっかり見て、笑顔と向上心を忘れずに利用者さんと向き合っていきたいと思っています。

☆明石満洋さん

四月よりケアホームCOCOに就労しました。明石です。ギャグを言っっては、いつもずばっている私ですが、お手柔らかなご指導をお願いいたします。

新旧職員こそってよろしく申し上げます。



楽園新聞



まさしさんより行楽記事

生活介護事業所では、これまで車で行って来た遠足ですが、昨年からは一部、公共交通機関を使って行くようになりました。当初、五月にJR・千葉都市モノレールに乗って千葉市動物公園に行く予定でしたが、雨で順延になり、雨でも電車で行ける場所はどこだろう……と悩んだ末、見つけた場所は東京スカイツリーでした。

メンバーは、電車に乗ることをずっと楽しみにしていたまさしさん、いつもの遠足と違い、少々ドキドキしているしんごさん、人に会うと満面の笑顔を振りまいているこうすけさんの三人です。

遠足当日の朝、君津駅から総武線快速に乗車して錦糸町駅まで向かいます。電車が動き出して目がキラキラのまさしさん、逆にびっくりにして目を丸くしたしんごさんとにかくよく笑い、楽しそうなこうすけさん。反応は三者三様でしたが、片道一時間半の長い道中で、園での生活では見ることができない色々な表情を見せてくれました。

いよいよ着いたスカイツリー。早速、展望台に昇った一行ですが、この日は残念ながら曇り空で眺めはまいち。現地での三人の様子を見てみると……。あまりの高さにびっくりにして下を見られず動けなかったまさしさん、高さなんてものともせず、どんどん歩いたしんごさんとこうすけさん。お土産売り場でもそれぞれ欲しい物を選び、普段は見られない一面を見せてくれました。

土地柄と言っべきなのか、これを書いている私自身も最近では車や高速バスに乗って出かける事が多くなっている気がします。でもやっぱり、今回のように電車を使って出かけるのも楽しいな♥と感じた遠足でした。

(まの)



※当日はまさしさんとしんごさんがスカイツリーの写真を撮っています。ぜひご覧ください。



しんごさん撮影



まさしさん撮影

こんにちは かないりゅうたくんです

こんにちは、かないりゅうたくんです。りゅうたくんはこれまで児童の方にいたんだけど、今年の三月で学校は卒業しました。それで四月からは児童の方に来ちゃダメなんだって。だからりゅうたくんは湊ひかり学園の大人の方にきてるんだ！

四月一日、大人の方の初めての利用の日。みんなが歓迎会を開いてくれたよ。りゅうたくんは少し緊張してたんだけどね、あずやこうすけ、それに児童のみんなもいたから大丈夫でした。



湊ひかり学園でりゅうたくんは散歩や車庫外出、リラックスマや動画鑑賞なんかを行っているよ。他にも身体を動かしたり、レクリエーションをしたり、創作をしているよ。りゅうたくんの好きな活動は散歩と動画鑑賞なんだ！散歩はまいくと手をつないで歩いているんだ。みんなで中学校の方に行ったり、ローソンの方に行ったり、海岸の方に行くんだよ！駅の方にも行くんだけど、たまに電車が走っているのを見て、すっごくカッコいいんだよ。りゅうたくんは電車がとても大好きなんだ！活動で動画鑑賞をする時も、先生(職員のこと)に「なにが面白い?」って聞かれたら「新幹線!」ってお願いしています。それでつけてもらえるよ、もうすつと見ちゃおうの。電車は動いている時も、駅に止まっているのもどれもすっごくカッコいいんだ！いつか皆と乗りたいな。

(大木)

【編集後記】

もう秋の学園祭の話を始めなければならぬ時期になっています。利用者といっしょに、これまで以上に盛り上げていこうと思っています。

(広報委員 室田)